



多目的利用が可能な自社ヤード

- 本社所在地：千葉県佐倉市
- 事業概要：
トラック・商用車の販売・買取
トラック・商用車のレンタル及びリース
トラック・商用車の塗装
- 常時使用する従業員：38名
(グループ全体・2026年6月時点)
- 現在の売上高：67億円
(グループ全体：2026年6月期)
- 法人番号：7040001089452
- Web：https://sakurawork.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
金谷正明

正道を行く

株式会社サクラコーポレーションは、「正道を行く」という理念のもと、中古トラックの買取・販売・レンタル・リース事業を通じて、日本の物流インフラを支えてまいりました。近年、物流業界を取り巻く環境は大きく変化しており、人手不足や物流効率化への対応、環境負荷低減への要請など、事業者求められる役割はますます高度化しています。その中で私たちは、単に中古車両の販売及び車両のレンタルをする企業としてではなく、お客様の事業継続と成長を支える「商用車ソリューション企業」として進化していかなければならないと考えています。私たちは今後も、物流を支える企業として社会的責任を果たしながら、持続的な成長を実現し、お客様・従業員・地域社会にとって必要とされ続ける企業を目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2025年時点のグループ売上高約45億円を基点として、年平均17%程度の成長を継続し、2030年に売上高100億円を達成することを目標とします。また、売上高100億円の達成を通過点と位置付け、収益力の向上と財務基盤の強化を図りながら、営業利益7億円、自己資本5億円規模の企業グループを実現するとともに、継続的な雇用拡大と賃金向上を通じて、従業員と地域社会の発展に貢献してまいります。

課題

- ①トラック販売台数及び高付加価値車両の取扱いを拡大する必要がある。
- ②仕入～販売までのリードタイムを短縮し在庫効率を改善する必要がある。
- ③建機レンタル会社向けダブルレンタル事業を中心に、保有台数及び稼働率を向上させ、安定収益基盤を強化する必要がある。
- ④営業・整備・管理部門における人材採用と育成体制の強化が必要である。
- ⑤販売管理・在庫管理・整備管理等のデジタル化を推進し、生産性向上を図る必要がある。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・既存の強固な仕入ネットワークを活かしたリースアップ車両や高年式車両の取扱いの拡大
- ・販売チャネルの多様化や在庫回転率向上により、販売台数及び販売単価の向上
- ・保有車両台数及び稼働率を向上、自社保有比率の向上により収益性改善
- ・新工場の建設や設備の増強による車両品質向上と納車リードタイム短縮
- ・内製化率向上による利益率改善
- ・販売管理、在庫管理、整備管理などの基幹業務をデジタル化
- ・車両整備事業の立ち上げと塗装事業の拡大強化

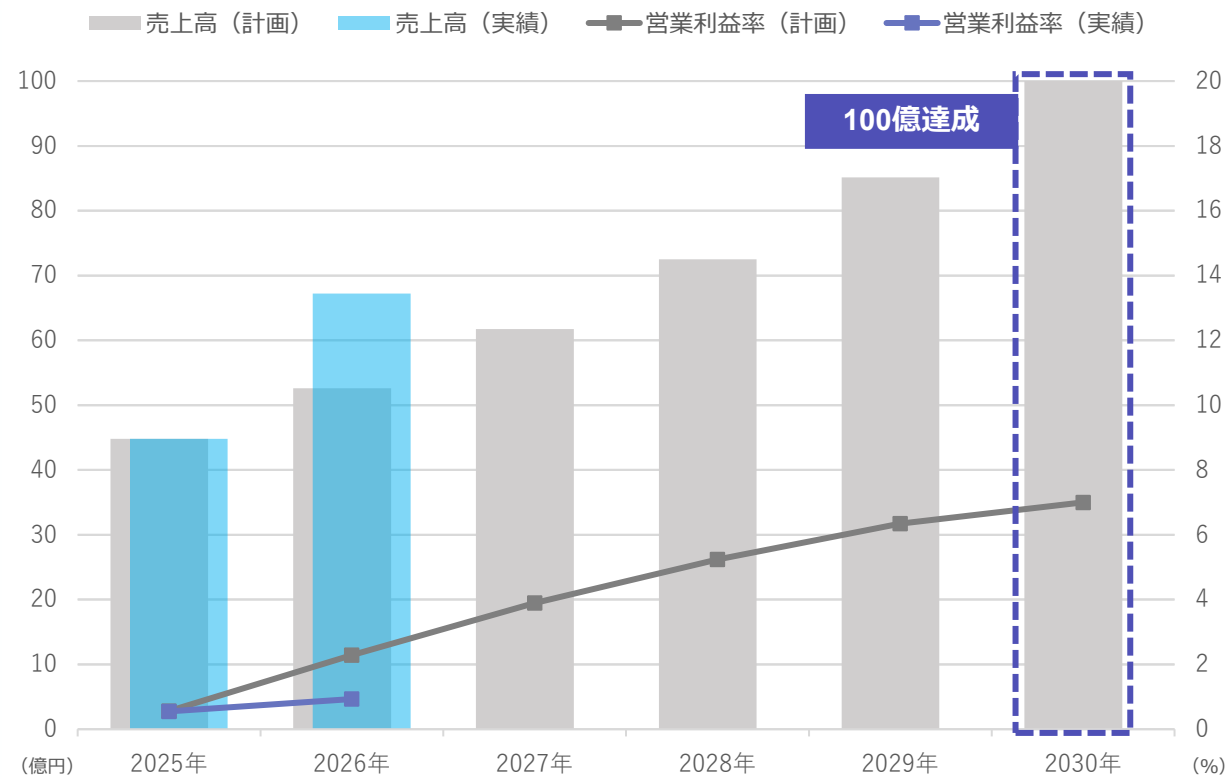
実施体制

株式会社サクラコーポレーション及び株式会社サクラレンタル＆リースが一体となり、グループ全体で売上高100億円の実現を目指します。

中古車販売事業、レンタル・リース事業、整備・板金塗装事業を有機的に連携させるとともに、経営陣主導のもとで設備投資、人材投資、DX投資を計画的に推進します。

また、継続的な人材採用・育成及び賃上げを実施し、従業員と企業がともに成長する組織づくりを進めることで、持続的な成長を支える体制を構築します。

売上高100億円実現の目標と実施体制



売上高（計画）	44.80億円	52.58億円	61.73億円	72.48億円	85.13億円	100億円
売上高（実績）	44.80億円	67.23億円	-	-	-	-
営業利益率（計画）	0.56%	2.28%	3.89%	5.24%	6.34%	7.00%
営業利益率（実績）	0.55%	0.93%	-	-	-	-

注）営業利益率（％）＝（営業利益÷売上高）×100
 注）計画値は2025年策定の中期経営計画に基づく。実績値は両社決算書の数値を合算したものを。

重点施策

- ①中古車販売の拡大
ヤードを拡張してきたことをフルに生かすため、在庫回転率の改善を施す
- ②ダブルレンタル事業の拡大
建機レンタル会社へのトラック貸出を基本とし、さらなる稼働率アップを図る。
- ③整備・板金・塗装の内製化及び外部受注の促進
整備、板金、塗装、引取業務等の強化により、付加価値を向上させる

実施体制

